

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.32

調査者	松木 良介、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年4月25日
情報ソースの調査日	2020年5月2日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月5日
日本語タイトル	COVID-19:心臓リハビリテーションの代替モデルが注目を集める時
情報ソース	Babu AS, et al. COVID-19: A Time for Alternate Models in Cardiac Rehabilitation to Take Center Stage. Can J Cardiol. , 2020 Apr 25.
情報のカテゴリー	包括的心リハ
発信地域	アジア(インド)、北アメリカ(米国)
DOI	10.1016/j.cjca.2020.04.023
URL	https://www.onlinecjc.ca/article/S0828-282X(20)30408-6/fulltext
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19の影響により、多くの国で、従来のセンターベース(対面、12週間)の心臓リハ(CR)の提供は事実上不可能となっている。 一方、様々なテクノロジー(パンフレット、電話、スマートフォンアプリ、電子メール、インターネットWebページ、そしてWebカメラ)の活用によるCRのしくみが整備されてきている。 テクノロジーベースの新たなCRが、今後主流となる可能性がある。 新たなCRには、設備やインターネット環境などの設備の充実が必要である。 中所得国や郊外(農村部)などにおける新たなCRの実践については多々課題もある。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> テクノロジー主導型CRのモデルについて、その利点と問題点を踏まえて解説されている。 COVID19 パンデミック段階が収束した後、CRの方法に進化・変革が起きる可能性がある。 今後、テクノロジーを背景とした新たなモデルの構築が必要となるかもしれない。